

令和7年度 第1回学校運営協議会

9 : 4 5 ~ 9 : 5 0 開会行事
9 : 5 0 ~ 1 0 : 1 0 校内一巡（フリー参観）
1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 2 0 懇談

〔懇談記録〕

○今年度の学校経営について（校長説明）

○学校経営について

A委員：小学生は自分から発言したり意見を出したりして闊達な印象を受けた。能動的な授業内容だった。中学生は、学習内容もあるかもしれないが、受け身な感じがした。もう少し元気があってもよい。

B委員：小学生をじっくり見させていただいたが、授業の中で手厚い環境の中にいると感じた。自分から問いを発したり、ICTを活用した授業が見られたりもした。音楽ではCDを掛けながら教師は個別の指導に当たるなど、いろいろな指導方法があるのが参考になった。

C委員：4月の献立表に白米は週1回しかないが、米不足の影響を受けているのか。苦情はないのか。

小教頭：献立に関しては、もともと白米の回数は少ない。苦情は特に来ていない。

C委員：学校への乱入事件のニュースがあった。学校はいろいろなところから侵入可能だが大丈夫か。さすまた等の準備はされているか。社会状況の変化に対応する手段をもたないと、これからの学校は大変である。

D委員：中学校の部活動は、どのようにやっているのか。

中教頭：野球部は雄和中、秋田北中と合同チームを組んで大会に出場する予定になっている。硬式野球、サッカー、男子バレー、ソフトテニスのクラブチームに参加している生徒がいる。

校 長：吹奏楽部も活動している。

E委員：ホームページを見ているが、今後もいろいろなものを見せてほしい。学校経営説明の中であった、将来の夢や希望をもっている子どもが多いことは良いことだと思う。

F委員：今年もユフォーレまつりがあるので、よろしくお願いいたします。中学校では、どのような形で英検に取り組んでいるのか。何年生までに何級を目指すなどの目標を設定しているのか。

中教頭：英検I B Aは、英語の実力を推し量るための検定であり、毎年行っている。漢字検定や数学検定もあるが、少人数のため、学校としては実施していない。興味ある生徒については、呼び掛け等を行っている。

校 長：英検I B Aは、正規の英検で何級程度かの目安が分かるものである。

G委員：運動会は楽しく一人一人が生き生きしていた。中学生が小学生の面倒を見たり、立ち止まって待ってあげたりすることに思いやりを感じた。朝登校を見守るときは、ちょっと元気がないと感じることもあるが、運動

会ではよい意味で違う面を見ることができてよかった。子どもの人数の減少、男女比の偏りもあり、これまでとの雰囲気の違いを感じた。

H委員：登下校時の安全について、子どもにもよく話してほしい。時間に余裕をもった登下校の指導を。学校の中でけんかなどの芽が少しでも見えたら素早い対応をお願いしたい。

I委員：今年は天候に恵まれない。2年前の水害を思い出す。昨年度、防災の提言を生徒からいただき、生徒から学んだことがあった。防災訓練は命を守ることにつながる。今後も防災訓練等続け、子どもから大人への提言もしてほしい。

J委員：年々子どもが減っていると感じる。授業では、温かく手厚い指導の下、遠慮なく意見を出せる雰囲気があった。校外学習で体験活動があるときは、事前に訪問先と打ち合わせをし、できることとできないことを確認して進めていただきたい。地域の方が体験のために用意したものを活用しないことがあれば、相手にとっても子どもにとっても残念なことだと思う。

K委員：スクールバスを子どもが利用しているが、最近登下校時に子どもが事故に巻き込まれるニュースを聞くことがあるので、心配である。

L委員：子どもの数が少ないことに驚いた。思っていた以上に少なくなっている。数が少ないことにはメリット、デメリットがある。先生とマンツーマンのように授業ができるのは良いことである。子どもの数が少ないことで、今後、統廃合等いろいろな問題に発展していくことが心配である。

D委員：学校適正配置化の問題は、PTAとしての意見をまとめて進めてほしい。